

令和4年度 いのちの授業 事例集（中学校）【社会】

掲載数

14

| 地区     | 学年 | 教科等 | テーマ                      | 内容  | 参考事項（講師・教材等）                 |
|--------|----|-----|--------------------------|---|------------------------------|
| 1 横須賀市 | 中2 | 社会  | 地理的分野<br>「横須賀市の防<br>災評価」 | 追浜中学区のハザードマップをもとに、横須賀市が推奨している防災の内容を調べ、自分自身を守るためにどのくらい知識や行動ができているかの評価をレポート形式で行った。<br>自身が住んでいる場所の危険度を意欲的に学ぶだけでなく、自助・共助・公助の大切さを話し合う姿が見られた。地域の中で共に関わり合いながら、いのちをつなぐことの大切さに多くの生徒が気付いていた。                                | 参考サイト<br>『横須賀市HP』            |
| 2 湘南三浦 | 中3 | 社会  | ちがいのちがい                  | 社会科公民分野の人権学習の導入として、世の中にある様々な「ちがい」について、「あってよいちがい」と「あってはいけないちがい」について考え、多様性を認めること、しかるべき配慮や差別意識について理解を深める。  | 社会科公民分野<br>『個人の尊重と日本国<br>憲法』 |
| 3 湘南三浦 | 中2 | 社会  | 「自助・共助・<br>公助」           | 日本についてさまざまなテーマで学習する中で、自然災害の多い日本にとって、災害への対応は切っても切り離せない関係にある。そのなかで、生徒が自分の部屋を調べて身の回りにある危険を認識したり、自分の家にはどのような防災グッズを調べることで、自分事のように考えるきっかけとなった。また、自分の地区のハザードマップを見ることで、自分の家の周辺にも目を向けることができた。最後に自助・共助・公助について具体的に考えることができた。 | ハザードマップ                      |
| 4 湘南三浦 | 中3 | 社会  | 新しい人権                    | 「臓器提供意思表示カード」「出生前診断」「安楽死」「尊厳死」について学習した。その後、「出生前診断」と「安楽死」について個人で考えたあと、クラスで意見を共有した。   | 新しい社会<br>(東京書籍)              |
| 5 湘南三浦 | 中2 | 社会  | 自然災害に対す<br>る備え           | 目的としては「自然災害を防いだり、被害を削減するためにどのような工夫をしているか」であった。その授業内で東日本大震災の話について触れ、実際に被災地で見た光景や、被災者の話を紹介し「生きていること」「命の大切さ」「自分だけの命ではないこと」などを考える時間にした。自分の命を一番に守れるのは自分ということを強調し、防災学習にもつなげた。   |                              |

|    |      |     |    |                                    |  |  |
|----|------|-----|----|------------------------------------|--|--|
| 6  | 湘南三浦 | 中3  | 社会 | 自己決定権                              | 日本国憲法には規定されていないが、新しい人権として定着している自己決定権について学習した。なかでも、インフォームドコンセントという考え方が自らの命に関わりがあり大切であること、またドナーカードを紹介して命のあり方について考える学習を行った。   |  |
| 7  | 県央   | 中複合 | 社会 | 防災マップ作成<br>避難経路作成                  | 生徒には学校外にいたとき、大きな災害（地震を想定）が発生したらどのような行動を取るのかを発問した。厚木市が出しているハザードマップとタブレット端末を活用し、避難場所を確認した。その後、学校から自宅までの避難経路をタブレット端末を使って調べた。最後に学区の大きな地図を用意し、目印となる建物や危険な場所などをペーパークラフトで作成し、立体的な地図が完成した。                                   | 特別支援学級の授業として実施。<br>該当生徒は中1～3年の計10名程度。<br>(参考資料)<br>NHK for School<br>未来広告ジャパン!<br>「自然災害から命とくらしを守る」 |
| 8  | 県央   | 中3  | 社会 | 基本的人権<br>～生存権～                     | 基本的人権の「社会権」について授業を行った。社会権には、「生存権」や「教育を受ける権利」など、4つの権利があることに触れたうえで、憲法第25条「すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利」の条文を音読した。授業の後半では、実際に起きた訴訟をテーマに、「最低限度の生活」とは一体どのようなものか、クラス全員で議論した。  | 「中学生の公民」<br>(帝国出版)   |
| 9  | 県央   | 中3  | 社会 | 自己決定権<br>「臓器提供意思表示カード」             | 新しい人権の一つである自己決定権の学習を通して、その時点での臓器提供意思について考えた。その後、自分自身の意思を基に、級友と意見交換をした。その意見交換を通して、自分自身の考えをさらに深めることができた生徒が多かった。また、級友と話し合う前と話し合った後で自らの意思が変わった生徒も数人いた。   | 「臓器提供意思表示カード」  |
| 10 | 県央   | 中2  | 社会 | 天明の飢饉                              | 江戸時代最大規模の飢饉を取り上げ、命について考えさせた。当時の農業技術、気候、法制度からどのような問題点があり、どのような対策が必要かを考えさせた。今日の現状と比較して考えたり他国の貧困状況と照らして考えるなど、自分事としてとらえる生徒もいた。   | 学年職員による社会の授業。  |
| 11 | 県央   | 中2  | 社会 | 日本の身分制度や弾圧の歴史から、人権や平等に生きることについて考える | 社会の「武家政権の展開と世界のうごき」という単元の学習のなかで、キリシタンへの弾圧や「えた・ひにん」などの身分制度を学んでいく。その過程で、友人との意見交換や自身が現在生活している環境との比較を通して、人権やいのちに対する考えを深めていった。具体的には、「他のいのちに敬意を払うことが必要だ」や「国を治めようとするものが利益を重視しすぎると人権が守られなくなる」など、いのちや人権について深く考えることができる授業となった。 |  |
| 12 | 県西   | 中3  | 社会 | ヒロシマ                               | 修学旅行を控えて1年時より取り組んできた平和学習の一環として、被爆者の描いた絵をスライドにしたものを視聴しながら核の問題の学習を深めた。   | NHKスライド<br>「被爆者の絵は語る」  |

|    |    |    |    |               |  |  |
|----|----|----|----|---------------|--|--|
| 13 | 県西 | 中2 | 社会 | 第3章<br>日本の諸地域 | 地理分野での東北地方の単元では、震災による影響を考えた。津波に備えて、いのちを守るために高台に住居を移動するのか、故郷や歴史を重んじて、そのまま定住するのか、話し合いを行った。話し合いが進むと、住む場所を変えるのも難しいが、いのちを守るための行動が重要である等の意見が出た。また、各自で防災やいのちを守るためにどのような対策をしているのか共有した。   | 地理の資料集   |
| 14 | 県西 | 中3 | 社会 | 公民・憲法・新しい人権   | 憲法は、人権を守るためにつくられた。人権とは、自分らしく幸せに生きていく権利である。その中でも、社会の変化とともに新しい人権が必要とされている。自己決定権、ドナーカード、出生前診断、尊厳死、安楽死、クローンなど、技術発展によるいのちへの可能性が広がっていった一方で、その技術発展の中でいのちの考え方が軽視されないように注意しなければいけないと考える。単元を通して、人権について学ぶことで、技術の進歩だけではなく、少子高齢化、情報化、グローバル化とどんどん変化していく中で、変化が必要なものと、慎重に向き合い考えなければいけないいのちへの重みについて悩みながら生徒たちは自分の考えをもっていた。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京書籍『新しい公民』</li> <li>・東京法令出版『ビジュアル公民』</li> </ul> |